

第 24 回通電焼結(SPS)研究会 The 24th SPS Forum-Japan

「通電焼結プロセスによる材料研究の新展開」

会期：令和元年 12 月 5 日（木）～ 6 日（金） 会場：長岡技術科学大学・マルチメディアセンター会議室

協賛：国際セラミックス連盟（ICF: International Ceramic Federation）、粉体粉末冶金協会、日本セラミックス協会、日本学術振興会先進セラミックス第 124 委員会

12 月 5 日（木）

13 : 00 開会の挨拶 後藤 孝（東北大学/長岡技術科学大学）

13: 05-13 : 30 「PACRIM-13 国際会議」と SPS 製品づくり”

鶴田正雄（株式会社エヌジェーエス）

13: 30-13 : 55 “通電支援焼結における電場／電流効果とは“

吉田英弘（東京大学）

13 : 55-14 : 20 “通電焼結（SPS）装置を用いた透明硫化亜鉛の焼結”

○森田孝治¹、金 炳男¹、鈴木 達¹、佐野雅彦²

（¹国立研究開発法人 物質・材料研究機構、²日本電気株式会社）

14 : 20-14 : 45 “放電プラズマ焼結プロセスにおける試料・ダイ内部電流の能動制御と焼結挙動”

○三沢達也¹、坂巻巧²、遠藤楓¹、武井将司¹、川上雄士³、川原正和⁴

（¹佐賀大学、²九州大学、³久留米工業高等専門学校、⁴川原 SPS 技術事務所）

14 : 45-15 : 10 “千葉県公設試における SPS を用いた新機能性材料開発支援”

吉田 浩之（千葉県産業支援技術研究所）

15 : 30-16 : 00 【特別講演】佐々木 徹（長岡技術科学大学）「プラズマと放電の話」

16 : 00-16 : 25 “Bi₂Te₃ 系熱電材料の組織へ及ぼす通電焼結時の圧力印加パターンの効果”

○北川裕之¹、鈴木絢子^{1,2}、菊池光太郎²

（¹島根大学、²エス・エス・アロイ株式会社）

16: 25-16 : 50 “通電加圧焼結により作製した黒色ジルコニアの傾斜構造”

○且井宏和¹、小林慶三¹、堀田幹則¹、菊池光太郎²

（¹国立研究開発法人 産業技術総合研究所、²エス・エス・アロイ株式会社）

16 : 50-17 : 15 “SPS 焼結のテクニック“

延田勝彦（富士電波工機株式会社）

17 : 15-17 : 40 “SiC 繊維の放電プラズマ焼結”

大柳満之（龍谷大学）

12 月 6 日（金）

9 : 00-9 : 25 “固-固相転移材料 VO₂ の焼結”

馬場将亮（長岡技術科学大学）

9:25-9:50 “ホウ化物系セラミックスの工具への応用の検討”

小出 学（長岡工業高等専門学校）

9:50-10:15 “TiN 焼結体を工具電極に用いた放電コーティング”

○ 金子健正¹, 小出 学¹, Jabri KHALED²

（¹長岡工業高等専門学校, ²株式会社シンターランド）

9:15-10:40 “SPS 焼結法による大口径遠赤外光学レンズの開発”

Jabri KHALED（株式会社 シンターランド）

11:00-11:25 “超高温セラミックスのスピノーダル分解”

後藤 孝（東北大学/長岡技術科学大学）

11:25-11:50 “通電焼結による非平衡組織の形成とそれを用いた傾斜機能材料および結晶粒微細化剤製造”

渡辺義見（名古屋工業大学）

11:50-12:15 “直接通電焼結プロセスを用いた導電性粉末の高効率焼結”

井藤幹夫（大阪大学）

12:15-12:40 “パルス通電焼結による透光性アルミナにおける黒点の形成メカニズム”

○南口 誠, 小柏悠太郎（長岡技術科学大学）

12:40 閉会の挨拶 後藤 孝（東北大学/長岡技術科学大学）

【問合先】 南口誠（第24回通電焼結研究会事務局内）

長岡技術科学大学 材料システム工学高温材料 研究室 Tel:0258-47-9709

通電焼結(SPS)研究会事務局 電子メール: spsforum_1004@yahoo.co.jp